

令和８年度４月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【 会議名称 】 令和８年度４月期古賀市社会教育委員の会議

【 日 時 】 令和８年４月２４日（金） １８時３０分～２０時００分

【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 １０３洋室

【 内 容 】 ・今年度の会議の内容について
・第１１回笑顔のつどいについて

【 出席委員 】 園議長、安部委員、石川委員、梅谷委員、大賀委員、倉掛委員、
坂崎委員、藤田委員（以上委員８名）

【 欠席委員 】 江口委員、橋爪委員

【 事務局 】 生涯学習推進課長、職員２名

【 傍聴者数 】 ０名

(配布資料)

- ・レジュメ
- ・令和 8 年度各種委員の役割分担
- ・各種委員の事業日程等

1. 開会

2. 5月30日 通学合宿説明会

青少年育成課より資料の説明

3. 各種委員の選出

(園議長)

福岡県社会教育委員連絡協議会評議員は園、図書館協議会委員が安部委員とすでに決まっておりますので、残りの4つの委員について、立候補をお願いします。

では、人権尊重推進委員を坂崎委員、社会「同和」教育推進協議会理事を江口委員と藤田委員、青少年育成市民会議推進委員を大賀委員、図書館協議会委員を安部委員にお願いします。

4. 協議事項

- ・今年度の会議の内容について
- ・第11回笑顔のつどいについて

(園議長)

今年度の社会教育委員の会議の内容については、昨年度と同様になりますが、特定のトピックを一つ選定し、現状と取組内容を深く共有したいと考えています。また、第10回笑顔のつどいで発表いただいた「みんなふるや」のその後の活動について聞いたり、実際に見に行ったりしてみてはどうかと思います。研修会への参加については、各地で開催される研修会は日程上の制約があるものの、できる限り委員が分散して参加し、多様な地域の取組事例を収集・共有できたらと考えます。

次に、「笑顔のつどい」についてです。名称の変更は混乱を招く可能性があるため、従来どおり「笑顔のつどい」とし、令和8年度に実施します。本企画を通じて、社会教育に未だ関わりのない方々にも広げるとともに、社会教育活動に参加する若年層をステージに招き、活動の価値を広く共有していきたいと考えています。今後の進め方としては、アンケート結果を踏まえ、若年層が関与している活動に焦点を絞り、具体的なテーマを設定したうえで、皆

さんの知る事例を挙げていただく形で企画を検討したいと思います。また、会議の実施曜日についてはアンケートで金曜日が比較的都合が良いという結果が出ているため、金曜日開催を基本とする案についてご意見を伺います。

まずは、本年度の会議の主題として、みんふるやに関する取組、各種研修会への参加について、ご意見をお寄せください。

(安部委員)

意見ではないですが、今年度の研修会等の日程について予定表を出して頂きたいです。

(事務局)

次回の会議で、年間活動計画について説明する予定です。

(梅谷委員)

若い世代の地域づくりに関する活動を案外知らない方が多いので、みんふるやの発表と並行してはどうかと思います。

(石川委員)

前回の笑顔のつどい後、みんふるやの活動がどんなふうに広がるか今後の展開に興味があります。他の団体とつないだらどう変わったか聞いてみたいです。

(園議長)

みんふるやと他の団体がつながったらどう変わったか興味があります。昨今は読書離れが指摘され、子どもが公共の場で本に触れる機会も乏しい状況です。

(梅谷委員)

興味の枠が狭まるとピンポイントの方しか来ないので、若い人の発想での活動を取り入れてみると広がると思います。

(安部委員)

笑顔のつどいが第10回という節目を迎えたことから、どう変わったのか知りたいです。例えば、第9回のテーマであった公民館の人的配置など、以前に指摘した論点が古賀市でどの程度前進したかを検証し、「笑顔のつどい」を唯一の柱にせず、もう一つの柱を併置することも検討してみてはいかがでしょうか。

(梅谷委員)

笑顔のつどいのはじめに 10 年を振り返っての話を議長からしてもらってもいいと思います。

(藤田委員)

過去の 10 年を振り返ると、継続して参加されている方もいるので、振り返りができるのはいいと思います。

(坂崎委員)

いい話を聞いて終わるのではなく、次の一步を手助けできるといいと思います。

みんふるやの OS 的な発想は、誰もが応用可能であり、説明会と併せ、通学合宿・地域の食堂などの場で始める支援を提供することで展開が加速すると考えます。

(梅谷委員)

手法のハードルを下げ、要点を整理し、参加者一人ひとりの「やりたい」を後押しする設計が重要だと思います。

(倉掛委員)

いつも地域の子どもたちのことが気になっていて、公民館を使う頻度が下がっているため、子どもたちの居場所として開放できたらと思います。放課後の子どもたちの社会教育に触れる機会が少ないことが課題に感じます。

(大賀委員)

昨年の取り組みは、良い事例を聞くだけで終わっても現場に戻ると何も変わらなかったと思いました。10 年の節目で振り返りを見てみたいです。しぼんでいく活動が多いので、変化が見える仕組みがほしいと思います。

(梅谷委員)

公民館の鍵の管理について課題に感じるが、課題の整理をしていかないと手立てが見つからないと思います。

(倉掛委員)

小野小学校の開放事業ではプログラムがないので自由に遊ぶことができます。公民館の最低限のルールを教えるのが社会教育です。手上げ式でやりたい地域の団体に補助金ができないかと思います。

(梅谷委員)

社会の大人が忙しくなっている中で、どこかにいいキーワードはないかが難しく、そこが一番学びたいと思います。

(園議長)

子どもの居場所をどこに作るか。また、居場所の養成者も必要です。

次回も皆さんの感心ごとについて、活発な意見交換をしていけたらと思います。

3. その他

(1) 各委員から

連絡なし

(2) 事務局から

事務局の異動について

(3) 次回開催日程

5 月 2 2 日 (金) 1 8 : 3 0 ~ 会場 : 1 0 3 洋室

4. 閉会